

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公表番号】特表2013-533268(P2013-533268A)

【公表日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-045

【出願番号】特願2013-520235(P2013-520235)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 3/10

A 6 1 K 45/00 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月6日(2014.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) ヒトイインスリン受容体に対する活性化増強型抗体と、b) 内皮NO合成酵素に対する活性化増強型抗体とを含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項2】

a) ヒトイインスリン受容体 - サブユニットのC末端断片に対する活性化増強型抗体と、b) 内皮NO合成酵素に対する活性化増強型抗体とを含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項3】

a) ヒトイインスリン受容体に対する活性化増強型抗体と、b) 内皮NO合成酵素に対する活性化増強型抗体とを含む医薬組成物であって、前記インスリン受容体の分子が、1つの - サブユニットと1つの - サブユニットとからなることを特徴とする医薬組成物。

【請求項4】

薬学的に許容される固体担体と、a) 前記固体担体に浸透させたC12、C30、及びC200ホメオパシー希釈物の混合物の形態であるヒトイインスリン受容体 - サブユニットのC末端断片に対する活性化増強型抗体と、b) 前記固体担体に浸透させたC12、C30、及びC200ホメオパシー希釈物の混合物の形態である内皮NO合成酵素に対する活性化増強型抗体とを含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項5】

各活性化増強型抗体が、希釈するごとに振とうしながら連続的に100倍希釈することにより調製される請求項1から4のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項6】

ヒトイインスリン受容体が、配列番号1からなる請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項7】

内皮NO合成酵素が、配列番号15からなる請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

ヒト患者におけるⅠ型糖尿病の治療に使用するための請求項1から7のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 9】

ヒト患者におけるⅡ型糖尿病の治療に使用するための請求項1から7のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 10】

哺乳類の血糖値の低下に使用するための請求項1から7のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 11】

インスリン抵抗性の治療に使用するための請求項1から7のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 12】

医薬組成物が、1単位又は2単位の剤形として患者に投与される請求項8から11のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 13】

剤形が、1日間に1回～1日間に4回投与される請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

剤形が、1日間に3回投与される請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

インスリン又はⅠ型糖尿病の治療に適した他の追加の医薬を更に含む請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

Ⅱ型糖尿病の治療に適した追加の医薬を更に含む請求項9に記載の医薬組成物。